

11月6日

各界の名士が意外な特技を披露 チャリティー職域かくし芸・芸能の集い



弟子屈更生保護女性会(中原艶子会長)主催の第7回チャリティー職域かくし芸・芸能の集いが11月6日、福祉センターで開催されました。青少年を犯罪から守る取り組みや更生保護制度の周知などを目的に、隔年で開催されています。今回は、町内の各種団体や職場の代表者など18組が、自慢の歌や踊り、芝居などを披露。観客から大きな拍手が贈られていました。益金は、弟子屈町社会福祉協議会に寄付されました。

弟子屈更生保護女性会(中原艶子会長)主催の第7回チャリティー職域かくし芸・芸能の集いが11月6日、福祉センターで開催されました。

青少年を犯罪から守る取り組みや更生保護制度の周知などを目的に、隔年で開催されています。今回は、町内の各種団体や職場の代表者など18組が、自慢の歌や踊り、芝居などを披露。観客から大きな拍手が贈られていました。益金は、弟子屈町社会福祉協議会に寄付されました。

11月2日

本当に求められている支援は何か 震災支援報告会でボランティアが活動報告



弟子屈ロータリークラブ(小林寿男会長)、てしかがえこまち推進協議会アート&アド部会(今井善昭部会長)、弟子屈町商工会青年部(筒井貴文部長)主催の東日本大震災ボランティア支援報告会が11月2日、ホテル摩周で開催されました。報告会には60人が参加。岩手県宮古市での炊き出しを中心に活動した菅原誓之さん(本照寺住職)、宮城県石巻市を中心に半年間で5度も支援活動に赴いた木名瀬裕さん(屈斜路ガイドステーションわか代表)、東北救済プロジェクト代表の吉川美由紀さんが、被災地の様子などを報告しました。

弟子屈ロータリークラブ(小林寿男会長)、てしかがえこまち推進協議会アート&アド部会(今井善昭部会長)、弟子屈町商工会青年部(筒井貴文部長)主催の東日本大震災ボランティア支援報告会が11月2日、ホテル摩周で開催されました。

報告会には60人が参加。岩手県宮古市での炊き出しを中心に活動した菅原誓之さん(本照寺住職)、宮城県石巻市を中心に半年間で5度も支援活動に赴いた木名瀬裕さん(屈斜路ガイドステーションわか代表)、東北救済プロジェクト代表の吉川美由紀さんが、被災地の様子などを報告しました。

10月23日

お稽古の成果を聞いてください 摩周おこと子ども教室の発表会



練習の成果を披露する受講生

摩周おこと子ども教室の閉講式と発表会が10月23日、摩周観光文化センターで行われました。教室は町青少年健全育成事業の一環で、町教育委員会と生田流琴友会(辻谷武喜代表)の共催で6月に開講。小学校1～6年生19人が10月まで、月2回のお稽古に励んできました。発表会では、これまで練習してきた「てるてる坊主」「さくらさくら」「虫の声」の3曲を披露。集まった保護者などから大きな拍手が贈られました。

摩周おこと子ども教室の閉講式と発表会が10月23日、摩周観光文化センターで行われました。

教室は町青少年健全育成事業の一環で、町教育委員会と生田流琴友会(辻谷武喜代表)の共催で6月に開講。小学校1～6年生19人が10月まで、月2回のお稽古に励んできました。発表会では、これまで練習してきた「てるてる坊主」「さくらさくら」「虫の声」の3曲を披露。集まった保護者などから大きな拍手が贈られました。

カメラスケッチ



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにかかけます。お気軽にご連絡ください。



企画財政課企画係 ☎482-2913(課直通)

11月10日

陶芸って面白い 弟中と川中の3年生が摩周焼を体験



弟子屈中学校(吉田亨校長)と川湯中学校(辻川尚志校長)の3年生73人が11月10日、摩周焼体験学習を行いました。総合的な学習の一環として毎年行われているもの。郷土を代表する工芸の一つである摩周焼の制作を通して、思い出をつくり、郷土を愛する心を育てることが目的です。摩周焼窯元の森雅子さん(奥春別)を講師に招き、森さんとそのお弟子さんたちの協力の下、多目的カップ作りに挑戦しました。作品は、12月中旬から公民館で展示される予定です。

弟子屈中学校(吉田亨校長)と川湯中学校(辻川尚志校長)の3年生73人が11月10日、摩周焼体験学習を行いました。

総合的な学習の一環として毎年行われているもの。郷土を代表する工芸の一つである摩周焼の制作を通して、思い出をつくり、郷土を愛する心を育てることが目的です。摩周焼窯元の森雅子さん(奥春別)を講師に招き、森さんとそのお弟子さんたちの協力の下、多目的カップ作りに挑戦しました。作品は、12月中旬から公民館で展示される予定です。

11月10日

2050年のまちの姿について考えよう 低炭素未来ビジョンのワークショップを開催



道主催の北海道低炭素未来ビジョン釧路・根室地域ワークショップが11月8日、福祉センターで開催されました。低炭素とは、二酸化炭素の排出が少なく、資源の無駄遣いをしないということ。道では、2050年の低炭素社会を描いた「北海道低炭素未来ビジョン」の策定を検討しており、ビジョンを身近に感じてもらうことを目的に道内6カ所でワークショップ開催を予定。本町が第1回目の開催となりました。ワークショップには約30人が参加。未来のまちの姿について、グループごとに意見交換を行いました。

道主催の北海道低炭素未来ビジョン釧路・根室地域ワークショップが11月8日、福祉センターで開催されました。

低炭素とは、二酸化炭素の排出が少なく、資源の無駄遣いをしないということ。道では、2050年の低炭素社会を描いた「北海道低炭素未来ビジョン」の策定を検討しており、ビジョンを身近に感じてもらうことを目的に道内6カ所でワークショップ開催を予定。本町が第1回目の開催となりました。ワークショップには約30人が参加。未来のまちの姿について、グループごとに意見交換を行いました。

10月24日

北海道の農業を守ろう 農協でTPP交渉参加反対の集会



「頑張ろう」を三唱する参加者

摩周湖農協主催の「TPP交渉参加断固阻止!『この地域のかたち』を考える弟子屈町民集会」が10月24日、J A摩周湖で行われました。政府がTPP(環太平洋連携協定)への交渉参加を検討していることを受けて開催されたものです。危機感を募らせた農業関係者など約100人が参加し「交渉参加に断固反対する」などの大会決議を採択。最後に参加者全員で「頑張ろう」を三唱しました。

摩周湖農協主催の「TPP交渉参加断固阻止!『この地域のかたち』を考える弟子屈町民集会」が10月24日、J A摩周湖で行われました。

政府がTPP(環太平洋連携協定)への交渉参加を検討していることを受けて開催されたものです。危機感を募らせた農業関係者など約100人が参加し「交渉参加に断固反対する」などの大会決議を採択。最後に参加者全員で「頑張ろう」を三唱しました。

10月24日

ヤナギの有効活用で新産業創出を 関係者が実証実験の現場を視察



「ヤナギの伐採を視察する参加者」

釧路町村会と釧路市の地域づくり広域プロジェクトが行う「ヤナギ有効活用実証実験」の現地視察と懇談会が10月24日、アトサヌプリ原野のヤナギの自生地と町内木材加工業者、摩周観光文化センターで行われました。実験は、管内で自生するヤナギをオガ粉に加工し、牛舎の敷材として利用するもので、新産業創出の可能性を探ることなどが目的です。視察には釧路・根室・十勝管内の町村長など約35人が参加。ヤナギの伐採や、木材加工業者でのヤナギのオガ粉製造を視察しました。

釧路町村会と釧路市の地域づくり広域プロジェクトが行う「ヤナギ有効活用実証実験」の現地視察と懇談会が10月24日、アトサヌプリ原野のヤナギの自生地と町内木材加工業者、摩周観光文化センターで行われました。

実験は、管内で自生するヤナギをオガ粉に加工し、牛舎の敷材として利用するもので、新産業創出の可能性を探ることなどが目的です。視察には釧路・根室・十勝管内の町村長など約35人が参加。ヤナギの伐採や、木材加工業者でのヤナギのオガ粉製造を視察しました。

11月12日

花壇づくりを応援します フラワーマスター協会が園芸講習会開催



宮崎さん(右)の講義に聞き入る参加者

摩周フラワーマスター協会(渡邊昇会長)主催の園芸講習会が11月12日、公民館で開催されました。今年は天候不順が続き、花壇づくりに苦労した愛好家が多いことから、来年の花壇づくりに役立ててほしいと開催したものです。講習会には約20人が参加。講師に宮崎先生の花の宮崎宏幸さんを迎え、花の選び方や育て方のポイントなどについて学びました。

摩周フラワーマスター協会(渡邊昇会長)主催の園芸講習会が11月12日、公民館で開催されました。

今年は天候不順が続き、花壇づくりに苦労した愛好家が多いことから、来年の花壇づくりに役立ててほしいと開催したものです。講習会には約20人が参加。講師に宮崎先生の花の宮崎宏幸さんを迎え、花の選び方や育て方のポイントなどについて学びました。

11月10日

永山在兼の偉業に思いをはせる 釧路の短歌会の皆さんが弟子屈で吟行会



顕彰碑を参観する短歌会皆さん

釧路市の短歌会「ひまわり短歌会」の皆さんが、吟行会で10月に本町を訪れた際に詠んだ短歌42首が11月10日、役場に届けられました。同会の皆さんは、釧路から阿寒、そして阿寒横断道路を経由して本町に入り、奥春別地区にある永山在兼の顕彰碑を参観して、短歌をつづったとのこと。鹿児島県出身の永山(1889～1945年)は、1915年道庁入庁、各地の土木事務所長を務めた人物で、釧路土木事務所長のとき阿寒横断道路建設に力を注ぎました。皆さんは永山の偉業に敬意を表し、また碑の周辺が地域の方によって美しく保たれていることに感銘を受け、短歌を詠んだそうです。

釧路市の短歌会「ひまわり短歌会」の皆さんが、吟行会で10月に本町を訪れた際に詠んだ短歌42首が11月10日、役場に届けられました。

同会の皆さんは、釧路から阿寒、そして阿寒横断道路を経由して本町に入り、奥春別地区にある永山在兼の顕彰碑を参観して、短歌をつづったとのこと。鹿児島県出身の永山(1889～1945年)は、1915年道庁入庁、各地の土木事務所長を務めた人物で、釧路土木事務所長のとき阿寒横断道路建設に力を注ぎました。皆さんは永山の偉業に敬意を表し、また碑の周辺が地域の方によって美しく保たれていることに感銘を受け、短歌を詠んだそうです。

11月1日

救命意識向上を目指して ホテルで応急手当講習会を実施



訓練人形で心肺蘇生法を行う受講者

お宿 欣喜湯(旧川湯ホテルプラザ)が11月1日、従業員を対象とした応急手当講習会を行いました。同ホテルは、過去にも講習会を実施するなど、応急手当に対し熱心に取り組んでいます。この日は、11人が普通救命講習(3時間)を受講したほか、過去に同講習を受講した5人が再講習に参加。川湯消防署員から応急手当の重要性や心肺蘇生法の手順などの説明を受けた後、人形を使って心肺蘇生法の実技を行いました。

お宿 欣喜湯(旧川湯ホテルプラザ)が11月1日、従業員を対象とした応急手当講習会を行いました。

同ホテルは、過去にも講習会を実施するなど、応急手当に対し熱心に取り組んでいます。この日は、11人が普通救命講習(3時間)を受講したほか、過去に同講習を受講した5人が再講習に参加。川湯消防署員から応急手当の重要性や心肺蘇生法の手順などの説明を受けた後、人形を使って心肺蘇生法の実技を行いました。

10月28日

地域の役に立ちたい 辻谷建設が湯川排水路周辺の除草などを行う



手分けして丁寧に作業を行う皆さん

辻谷建設(辻谷智之代表取締役)の皆さんが10月28日、川湯温泉街を流れる湯川排水路周辺で、立ち木の伐採や草刈りなどを行いました。川湯温泉を訪れる観光客を気持ちよく迎えたいと、社会貢献活動として行ったものです。社員20人が参加し、丁寧に作業を行っていました。

辻谷建設(辻谷智之代表取締役)の皆さんが10月28日、川湯温泉街を流れる湯川排水路周辺で、立ち木の伐採や草刈りなどを行いました。

川湯温泉を訪れる観光客を気持ちよく迎えたいと、社会貢献活動として行ったものです。社員20人が参加し、丁寧に作業を行っていました。



かわい だ りな ちゃん
川井田 莉奈 ちゃん



おおしま ひろ な ちゃん
大嶋 景奈 ちゃん



あい た ふう た ちゃん
會田 風汰 ちゃん



こばやし おとよし ちゃん
小林 音慶 ちゃん

抵抗力を高めるインフルエンザは備えよう



今月の保健師
山口 洋子 さん

今年もまたインフルエンザの季節がやってきました。一昨年から流行していた「新型インフルエンザ」は「季節性インフルエンザ」としての取り扱いとなり、予防接種もインフルエンザで統一されています。

新型インフルエンザのときは学校や保育園で大流行しましたが、入院などの重症化した人は少なかつたようで、予防に心掛けたおかげかもしれません。

風邪とは違いますよ

インフルエンザは、ウイルスに感染したことで発症します。症状は風邪よりも重く、38℃以上の発熱や頭痛・関節痛・筋肉痛など全身症状が強く現れます。

健康な人は数日で回復しますが、高齢の方などは肺炎や脳症、まれに重症化して死に至ることもあるため、その予防のため予防接種法で接種がうたわれることになりました。

予防の基本

- ① 外出後の手洗いとうがいの励行。(ブクブクうがい後にガラガラうがいをします)
- ② 栄養と休養を十分とり、体調管理に努めましょう。
- ③ 室内は、適度の温度と湿度を保ちましょう。(ウイルスは乾燥している環境が好きです)
- ④ 外出時にはマスクを着用しましょう。(ウイルスの進入予防に少し効果があります)
- ⑤ 人混みを避けましょう。
- ⑥ 予防接種を受けましょう。(重症化したり死亡することを防ぐ効果がありません)

かかったかな?と思ったら

外出を控え、マスク・喉の乾燥を防いでくれます)を着用し、急な発熱などで病院を受診する際は、受け付けなどで症状を伝えておくことをお勧めします。

体が温まる食べ物や飲み物をして、安静にして過ごしましょう。

タミフルやリレンザなど効果的な薬も出ていますが、副作用の報告もありますので、医師の指示に従って服用しましょう。

食事や睡眠で

身の抵抗力を高め、風邪などの感染症を吹き飛ばし、元気にこの冬を乗り切りましょう!



□問い合わせ先/保健福祉課健康推進係 ☎482・2935(課直通)まで。

カメラスケッチ



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにかかけます。お気軽にご連絡ください。



企画財政課企画係 ☎482-2913(課直通)

11月14日

税に関する高校生の作文
弟高の鈴木まなみさんが釧路税務署長賞

表彰状を受け取る鈴木さん(右)



平成23年度「税に関する高校生の作文」コンクールで、弟子屈高校3年の鈴木まなみさんが釧路税務署長賞を受賞しました。表彰式は11月14日、同校で行われ、清水一夫釧路税務署長から鈴木さんに表彰状が手渡されました。

同コンクールは、租税教育の一環として国税庁が毎年行っています。今年、釧路税務署管内からは3校215編の応募がありました。鈴木さんは「税金の必要性」と題し、税金が国民の生活を支えていることを自分が理解するまでを書き、管内最高賞である同賞を受賞しました。

11月18日

エゾシカや摩周湖など身近な環境問題を学ぶ
川中で環境科学研究センターによる環境学習

ガス探知機で窒素酸化物を測定



町と道立総合研究機構環境科学研究センター主催の環境学習会が11月18日、川湯中学校(辻川尚志校長)で行われました。

初めに身近な環境問題として、エゾシカについて、大気汚染や酸性雨について、摩周湖の霧についての説明が同センターの職員からありました。その後、ガソリン車とディーゼル車の排気ガス、教室の空気を採取して、ガス検知器による窒素酸化物の測定と、パックテストによるpHの測定を行いました。

11月17日

大切な魚資源を守りたい
屈斜路湖にニジマスの稚魚を放流

何度もバケツでニジマスを放流



町では11月17日、屈斜路湖にニジマスの稚魚を放流しました。遊魚振興の一環として、1968(昭和43)年から毎年行っています。併せて、自然の素晴らしさや命の大切さを学んでほしいと、今年も和琴小学校(合田晃子校長)の児童と一緒に放流を行いました。参加者約20人は和琴半島で、体長10センチ前後、重さ20グラムほどの稚魚約25,000匹を湖に放流。子どもたちは「ちゃんと大きくなってくれればいいな」などと話していました。

11月19日

地域の防災拠点としての役割も
弟子屈中学校の新校舎落成記念式典

全校合唱で新校舎落成を祝う



弟子屈中学校(吉田亨校長)の新校舎落成記念式典が11月20日、同校の体育館で行われました。新校舎は2010年5月に着工し、今年の3月に完成。今年度から新しい校舎で生徒たちが学校生活を送っています。

式典には、生徒と教職員、来賓、同窓生など約450人が出席。弟子屈中学校新校舎落成記念事業協賛会(高橋正秀会長)から、ピアノや大型プリンターなどが同校に贈呈されたほか、全校生徒の合唱と吹奏楽部の演奏が披露され、新しい門出を祝いました。

11月18日

震災の教訓をあらためて胸に
自治会連合会研修会で本照寺の菅原住職が講演

菅原さん(左)の話に聴き入る参加者



平成23年度自治会連合会研修会が11月18日、公民館で開催されました。

研修会では「東日本大震災に想う～ボランティア活動を通じて」と題し、岩手県宮古市を中心にボランティア活動を行った本照寺住職の菅原誓之さんが講演。活動報告を中心に講演を行ったほか、被災者の方が撮影した津波の映像上映、被災者の皆さんから贈られたお礼の手紙の展示などが行われ、参加した約40人が熱心に聴き入っていました。